

【報道関係各位】

社会人の大学・大学院進学に関する調査

1. 進学する際、現在勤めている会社は「そのまま勤めながら進学する」78%
2. 大学・大学院に進学したいと思った理由は
「現在の仕事に関してより専門知識を身につけるため」51%
3. 社会人の進学にあたっての不安は「学費の負担」が73%でトップ
次いで「学校に行く時間を確保できるかどうか」が53%

2007年4月19日
株式会社マクロミル
(証券コード:東証一部 3730)

「大学全入時代」が本年度にも到来すると言われています。また、定員割れの4年制私立大学が4割に達する一方で、大学や大学院は社会人入学制度を拡充し、社会人に対する門戸も拡大しつつあります。

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:辻本秀幸)は、全国20~59才の社会人(会社員・公務員に限る)で5年以内に国内の大学もしくは大学院に進学を考えている人を対象に、「社会人の大学・大学院進学に関する調査」を実施いたしました。

調査対象は、全国20~59才の会社員・公務員のうち、5年以内に大学もしくは大学院進学を考えている人(19,688人のうち517人、2.6%)。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2007年4月4日(水)~4月5日(木)。有効回答数は309名から得られました。

※今回の調査対象は、大学は学士課程、大学院は修士もしくは博士課程の進学を目的とする人に限定しました。聴講生、科目履修、公開講座等のみを目的とする人は除いています。

【調査結果概要】

【1】進学する際、現在勤めている会社は「そのまま勤めながら進学する」78%

5年以内に国内の大学・大学院へ進学意向のある社会人に、進学する場合、現在勤めている会社をどうするのか尋ねたところ、78%の人が「そのまま勤めながら進学する」と回答しました。また「退職してから進学する」が10%、「休職して進学する」が6%となりました。

【2】大学・大学院に進学したいと思った理由は

「現在の仕事に関してより専門知識を身につけるため」51%

大学・大学院に進学したいと思った理由を尋ねてみると、「現在の仕事に関して、より専門知識を身につけるため」が51%、「仕事に関係なく、興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから」が49%、「転職のため、知識と技能を身に付けたいから」が33%となっています。

【3】社会人の進学にあたっての不安は「学費の負担」が73%でトップ

次いで「学校に行く時間を確保できるかどうか」が53%

大学・大学院に進学するにあたって不安があるかどうか尋ねたところ、「不安がある」と回答した人は75%となりました。さらにどのような不安なのか尋ねてみたところ、「学費の負担」が73%で最も高く、次いで「学校に行く時間を確保できるかどうか」53%、「家での勉強時間を確保できるかどうか」49%となっており、「お金」と「時間」に対する不安が大きいことがわかりました。

「社会人の大学・大学院進学に関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	国内の大学もしくは大学院への進学を5年以内に考えている20～59才の会社員・公務員 (マクロミルモニタ会員) ※大学は学士課程、大学院は修士もしくは博士課程の進学を目的とする人に限る。聴講生、科目履修、公開講座等のみを目的とする人は除く。
有効回答数:	計309サンプル
調査日時:	2007年4月4日(水)～4月5日(木)
調査機関:	株式会社マクロミル

I. どのような進学を考えているのか

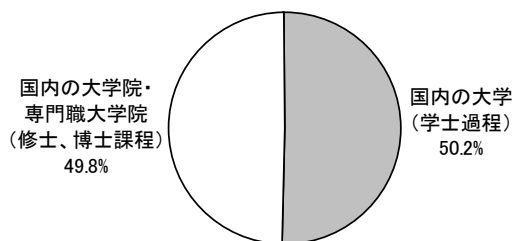
■大学への進学形態は、「通信制」が48%、大学院への進学形態は「夜間部(28%)」「昼夜開講制(25%)」「通信制(23%)」がほぼ同じ割合を占める

どのような進学を考えているのか尋ねたところ、「国内の大学」「国内の大学院・専門職大学院」がそれぞれ50%を占めました。【図1】

また、どのような進学形態を考えているのかを尋ねたところ、大学進学希望者では「通信制」が48%と約半数を占め、次いで「夜間部」は28%となっています。一方、大学院進学希望者では「夜間部」28%、「昼夜開講制」25%、「通信制」23%と割合はほぼ三分されています。【図2】

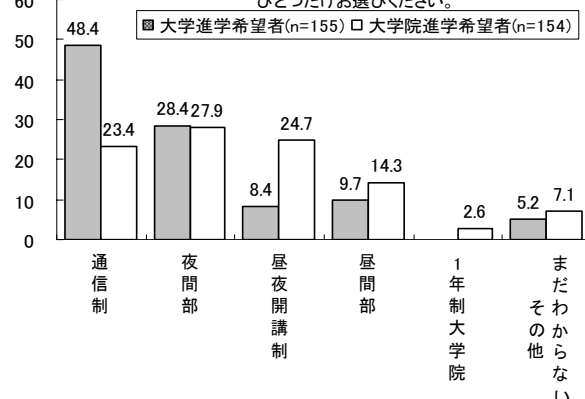
【図1】どのような進学を考えているのか

Qあなたは、どのような進学をお考えになっていますか。
※複数候補がある方も、今のお気持ちで最もあてはまるものをひとつだけお選びください。(n=309)



【図2】通学形態

Qあなたは、どのような形態で通学を考えていますか。
※複数候補がある方も、今のお気持ちで最もあてはまるものをひとつだけお選びください。

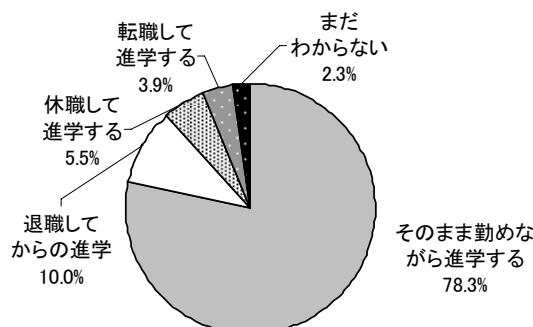


■大学・大学院へ進学する際、現在の会社を「そのまま勤めながら進学する」は78%

大学・大学院に進学する際、現在の会社をどうするのか尋ねたところ「そのまま勤めながら進学する」が78%と、全体の約8割を占めました。また「退職してから進学する」が10%、「休職して進学する」は6%となりました。【図3】

【図3】進学した際、現在の会社をどうするか

Qあなたは大学・大学院へ進学した場合、現在お勤めの会社をどうするお考えですか。(n=309)



■大学で学びたい学科は、1位「政治・経済」30%、2位「商学・経営学」28%、3位「法学」25%
大学院で学びたい学科は、1位「商学・経営学」33%、2位「法学」29%、3位「政治・経済」25%

大学・大学院で何を学びたいのか尋ねてみたところ、全体では「商学・経営学」が30%で最も高く、次いで「政治・経済」28%、「法学」27%でした。進路別にみると、大学進学希望者では「政治・経済」が30%で最も高く、次いで「商学・経営学」28%、「法学」25%、「心理学」24%でした。一方、大学院進学希望者では「商学・経営学」が33%で最も高く、次いで「法学」29%、「政治・経済」25%となりました。【図4】

【図4】大学、大学院で学びたいこと

Q.あなたは、大学もしくは大学院で何を学びたいと考えていますか。(複数回答可)

順位	全体(n=309)	%	大学進学希望者(n=155)	%	大学院進学希望者(n=154)	%
1位	商学・経営学	30.4	政治・経済	29.7	商学・経営学	33.1
2位	政治・経済	27.5	商学・経営学	27.7	法学	29.2
3位	法学	26.9	法学	24.5	政治・経済	25.3
4位	心理学	21.7	心理学	23.9	理学・工学	20.8
5位	理学・工学	18.1	福祉	16.1	心理学	19.5
6位	国際関係	12.6	理学・工学	15.5	国際関係	12.3
7位	人文科学・社会学	12.3	教育	14.8	医学・歯学	10.4
8位	福祉	12.0	人文科学・社会学	12.9	人文科学・社会学	9.7
9位	教育	11.7	国際関係	11.0	福祉	7.8
10位	芸術・デザイン	9.1	芸術・デザイン	11.0	教育	

■大学・大学院に進学したいと思った理由は

「現在の仕事に関して、より専門知識を身につけるため」が51%

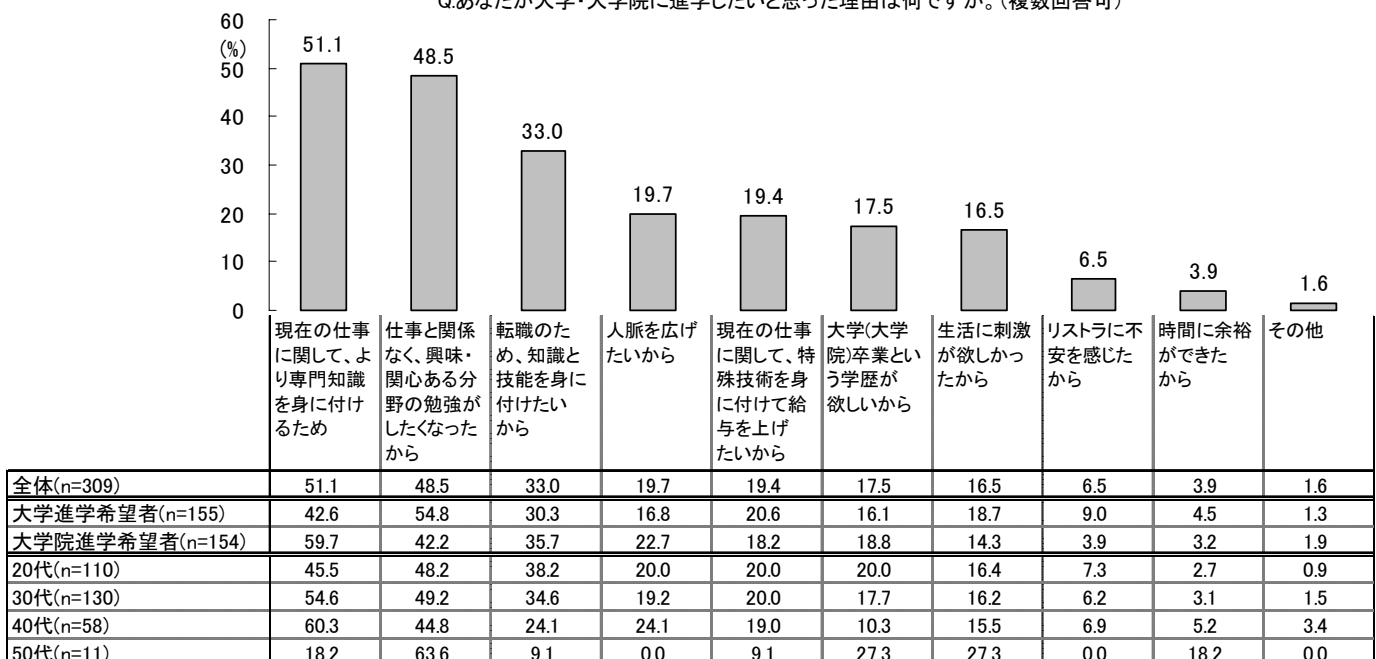
次いで「仕事と関係なく、興味・関心がある分野の勉強がしたくなったから」49%

大学・大学院に進学したいと思った理由を尋ねてみると、全体では「現在の仕事に関して、より専門知識を身につけるため」が51%、「仕事と関係なく、興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから」が49%、「転職のため、知識と技能を身に付けたい」が33%となっています。

また、進路別にみると大学進学希望者では「仕事と関係なく、興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから(55%)」の割合が最も高く、大学院進学希望者では「現在の仕事に関して、より専門知識を身につけるため(60%)」が高い割合を占めています。年代別にみると、30~40代で「現在の仕事に関して、より専門知識を身につけるため」大学・大学院への進学を望む傾向が強くなっています。【図5】

【図5】大学、大学院に進学したいと思った理由

Q.あなたが大学・大学院に進学したいと思った理由は何ですか。(複数回答可)



II. どのような大学・大学院を考えているのか

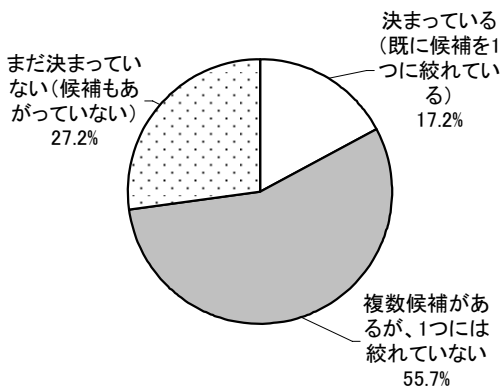
■進学したい大学・大学院は「決まっている(既に候補を1つに絞れている)」17%

進学したい大学・大学院がどの程度決まっているか尋ねたところ、「決まっている(既に候補が1つに絞られている)」が17%、「複数候補があるが、1つには絞れていない」が56%となっており、全体の73%は候補がある程度決まっているようです。【図6】

また、進学したい大学・大学院は、「国公立、私立の両方を考えている」という人が54%と過半数を占めています。進路別にみると、大学進学希望者では「私立しか考えていない」という人が34%となっていますが、大学院進学希望者では「私立しか考えていない」という人は9%に過ぎず、「国公立しか考えていない」という人が32%を占めています。大学院進学希望者では、国公立志向が強いです。【図7】

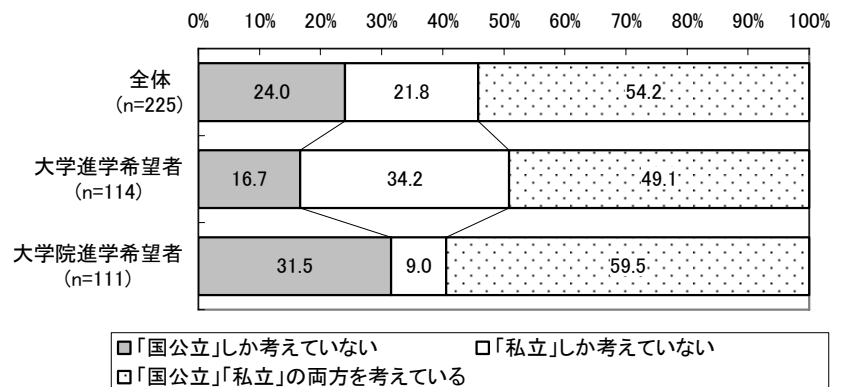
【図6】進学したい学校は決まっているか

Q.あなたは、具体的にどの学校(大学・大学院)に進学したいか決まっていますか。(n=309)



【図7】進学したい学校は、「国公立」それとも「私立」?

Q.あなたが進学したい学校(大学・大学院)は、「国公立」ですか、「私立」ですか。(ベース:進学したい学校の候補が決まっている社会人)



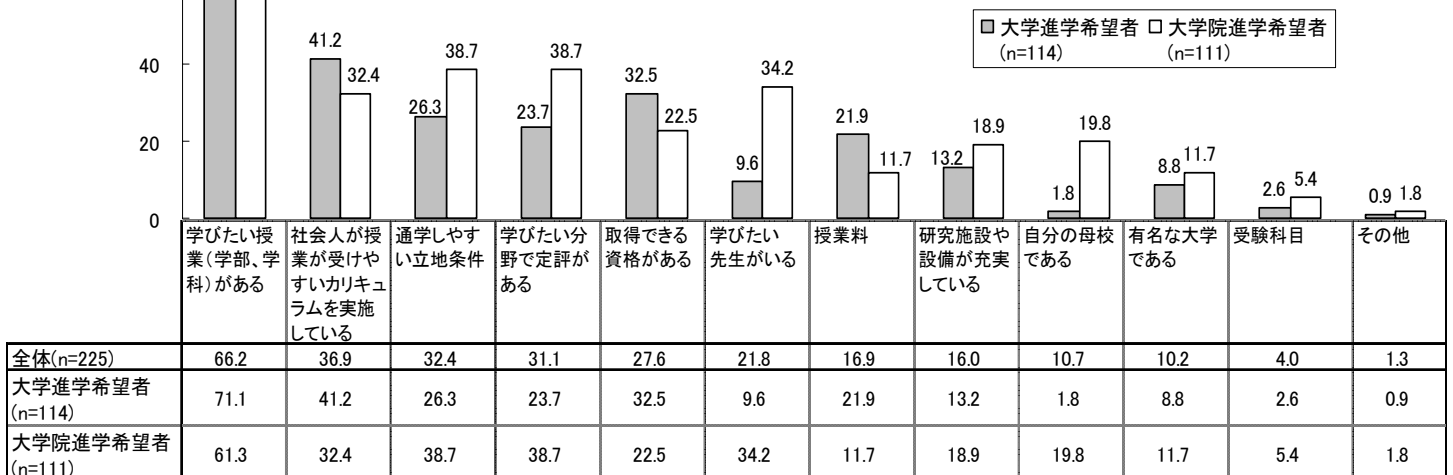
■大学、大学院ともに選ぶ基準は「学びたい授業(学部、学科)がある(66%)」がトップ

大学・大学院を選ぶ基準を尋ねたところ、全体では「学びたい授業(学部、学科)がある」が66%で圧倒的に高くなっています。

進路別にみても、大学・大学院進学希望者いずれも「学びたい授業(学部、学科)がある」が最も高くなっています。大学院進学希望者では「学びたい先生がいる」が34%(大学進学希望者では10%)、「学びたい分野で定評がある」が39%(大学進学希望者では24%)とその差が大きくなっていることから、大学院は大学に比べ「先生」や「その分野での評価」で選択されている傾向が強いことがわかります。

【図8】学校を決めた基準

Q.あなたは、何を基準に進学したい学校を決めましたか。(複数回答可)
<ベース:進学したい学校の候補が決まっている社会人>



Ⅲ. 社会人が進学するにあたっての不安、要望

■大学・大学院へ進学するにあたって「不安がある」は75%

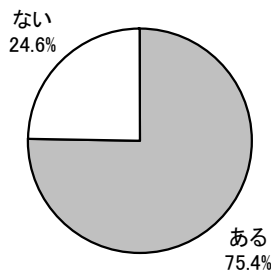
その不安は「学費の負担」が73%、次いで「学校に行く時間を確保できるかどうか」が53%

大学・大学院に進学するにあたって不安があるかどうか尋ねたところ、「不安がある」と回答した人は75%となりました。【図9】

さらにどのような不安なのか尋ねてみたところ、「学費の負担」が73%で最も高く、次いで「学校に行く時間を確保できるかどうか」が53%、「家での勉強時間を確保できるかどうか」が49%となっており、「お金」と「時間」に対する不安が大きい様子が伺えます。【図10】

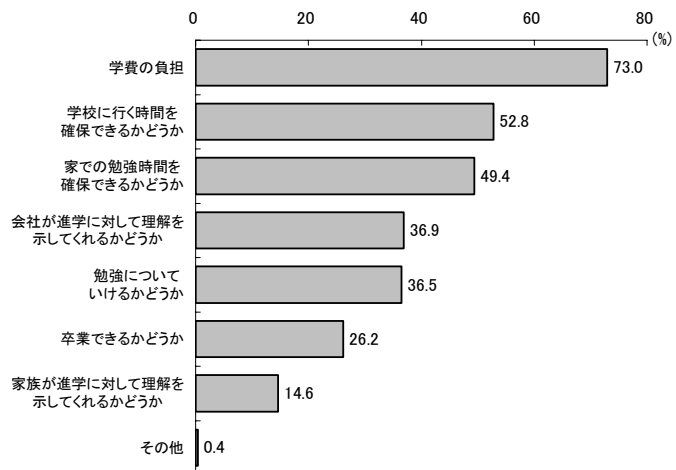
【図9】進学にあたっての不安の有無

Qあなたは、大学・大学院に進学するにあたって不安がありますか。(n=309)



【図10】進学にあたっての不安

Qそれはどのような不安ですか。(複数回答可)
<ベース:進学するにあたって不安がある人/n=233>



■社会人入学制度に関する不満は、大学進学希望者では「授業時間に関すること」が39%

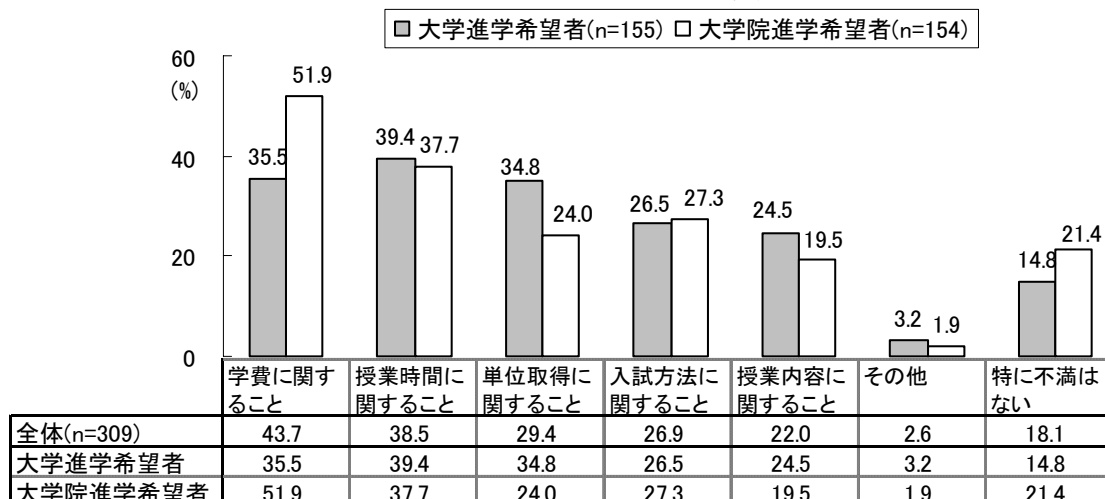
大学院進学希望者では「学費に関すること」が52%

大学・大学院の社会人入学制度に対する不満を尋ねてみたところ、全体では「学費に関すること」が44%で最も高く、次いで「授業時間に関すること」が39%となっています。進路別にみると、大学進学希望者では「授業時間」、大学院進学希望者では「学費」に対する不満が最も高くなっています。【図11】

具体的な意見として、授業時間に関しては「授業時間の融通をきかせて欲しい」「土日開講希望」といった意見が多く、学費に関しては、「学費が高い」「奨学金制度を充実してほしい」といった意見が目立っています。【次ページ参照】

【図11】大学・大学院における社会人入学制度に対する不満

Qあなたは大学・大学院の社会人入学制度に関して、何か不満はありますか。(複数回答可)



■大学・大学院の社会人入学制度に対する要望

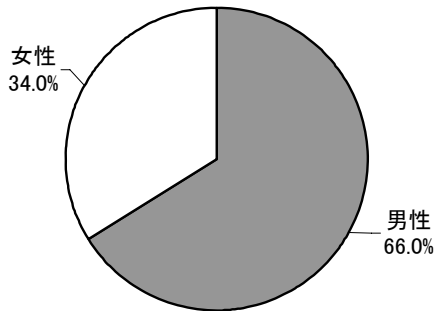
大学・大学院の社会人入学制度に関する要望	進学希望先	性別	年齢(才)
<授業時間に関すること>			
時間の融通が効く、授業構成が望ましい。既に身につけている科目や授業をパスできると望ましい。	大学	女性	28
平日は残業などがあり、ゼミへの参加が自由にできないので、土日に開講してもらえるとうれしい。	大学院	女性	29
夜間希望ですが、もう少し遅い時間に授業を行ってほしいです。	大学	男性	28
インターネットを活用するなど、なるべく通学に時間がかからないようにしてほしい	大学院	男性	27
<授業内容に関すること>			
もともと専門知識を身につける為に学ぶので余計な授業は受けたくない	大学	男性	26
過去に在籍或いは卒業した大学の場合は授業料の減免などが有っても良いと思う。夜間からしか通えない社会人のためにもさまざまな学部を用意して欲しい。	大学	男性	34
実利主義が横行しつつあること。純粋な学問を望む。	大学	男性	56
<単位取得に関すること>			
通信教育の場合、スクーリングが大事になってきますが、本校で必ず受講する、夏休み期間に数日間に亘る受講日程など、制約が多いケースもあります。仕事や家庭と両立となると、難しくなる可能性が高いと思います。	大学	女性	45
通信制大学を希望しているが、単位取得試験やスクーリングなどの日程が不満。もっと分散してほしい。	大学	男性	30
<入試方法に関すること>			
試験日が平日に設定されていることが多い	大学院	男性	29
社会でのキャリアが単位、もしくは入試制度に、ある程度有利に働いて欲しい。	大学院	男性	38
<学費に関すること>			
学費が高い。社会人では家庭もあるため、多くを学費に回せない。奨学金も使えない。	大学	女性	40
社会人といえども年間100万円以上の出費は痛い、子供の教育費を考えると、ダブル負担になる。年収に関係なく5年ローンぐらいの支払い制度があってほしい。	大学院	男性	46
税金面での優遇などがあると良い。	大学院	女性	29
<入学時期に関すること>			
決まった時期(4月や9月)にしか試験を行わない学校が多い。	大学院	男性	31
<情報に関すること>			
もう少し、授業内容を詳しく記載して欲しい。情報が少ないのもっと知りたい。	大学	女性	20
情報が少なく、授業についていけるかどうか不安が解消されない。	大学院	男性	34
入学時期を4月に限らず3ヶ月に1回程度で受け入れて欲しい。	大学	男性	42
<場所に関すること>			
会社から通いやすい都心で開講してほしい。時間的に自由度のある時間設定をしてほしい。金額的にもう少し安くならないか。	大学院	女性	28
思ったより授業料が必要であったり、セミナー等が居住地から遠い場合が多い。	大学	男性	31
<会社に関すること>			
会社側の配慮がまったくない	大学	女性	30
勤務先の事前承諾など、根回しが大変	大学院	男性	46
現在の仕事をしながら通学、勉強を続けることを支援するような法的制度がない。	大学	男性	46
会社に在籍しながら勉強が出来る学校を地方も含めて増やしてほしい	大学院	男性	33
成果主義に追われる現代の民間企業では、なかなか自分の時間を作ることが出来ない。その割には会社側は学歴(資格)を求めるのだが。。。	大学院	男性	33
本来なら、働きながらも余裕を持って授業を受けられるような体制が望ましい。ただ、夜間は仕事への負担が大きいほか、十分な教育環境にあるとはいえないという印象を持っている。	大学院	男性	35

■回答者プロフィール

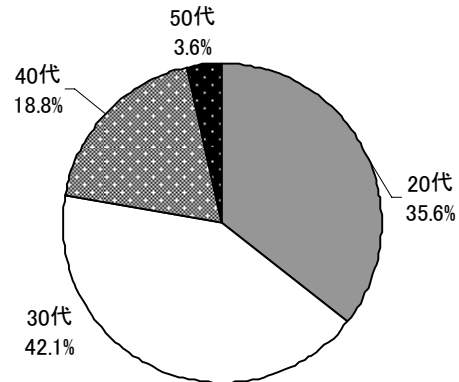
(全国 20～59 才の社会人で 5 年以内に国内の大学・大学院への進学を希望している人)

- ・男性が 66%、全体の 2 / 3 を占めています。【図 12】
- ・30 代が 42% と最も多く、次いで 20 代が 36%、20～30 代で約 8 割を占めています。【図 13】
- ・「独身・子供なし」が 53% と過半数を占めています。【図 14】
- ・「大学卒」が 58% と約 6 割を占めています。【図 15】

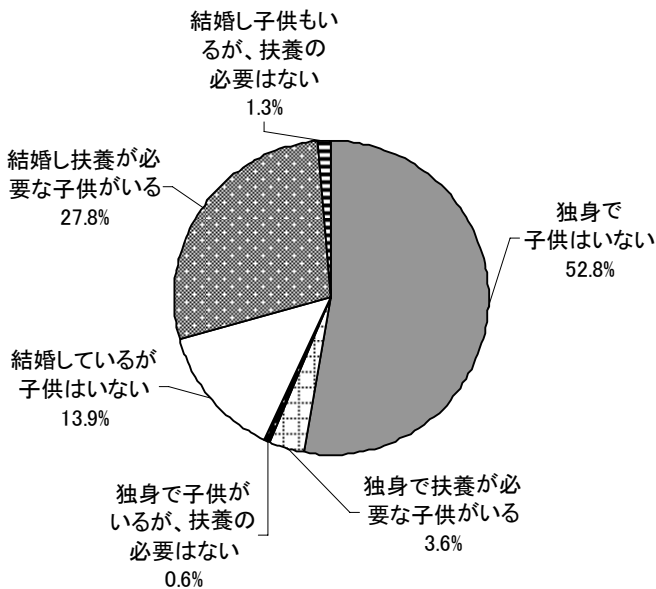
【図 12】性別(n=309)



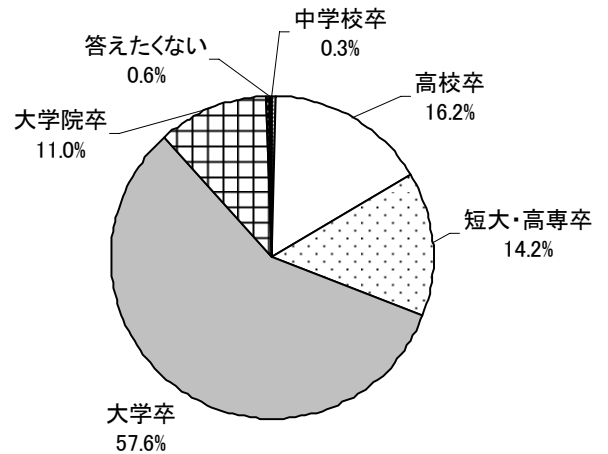
【図 13】年代(n=309)



【図 14】未既婚/子供の有無(n=309)



【図 15】最終学歴(n=309)



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内48万人を超える独自調査モニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000年1月31日
資本金 ■9億1,243万円 ※2006年12月末現在
上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
代表者 ■代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数 ■188名 ※2007年3月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

—— 本件に関するお問い合わせ先 ——

株式会社マクロミル 広報担当：関・西沢
東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」